

# 令和7年度 在宅医療介護従事者研修会 (医療倫理とカスハラ法) アンケート結果

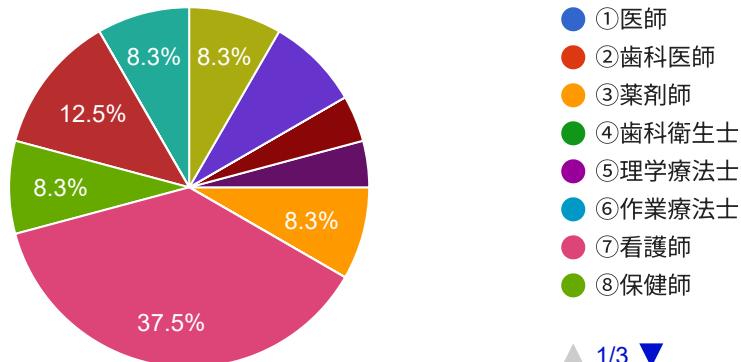
24 件の回答

[分析を公開](#)

## 1.職種

24 件の回答

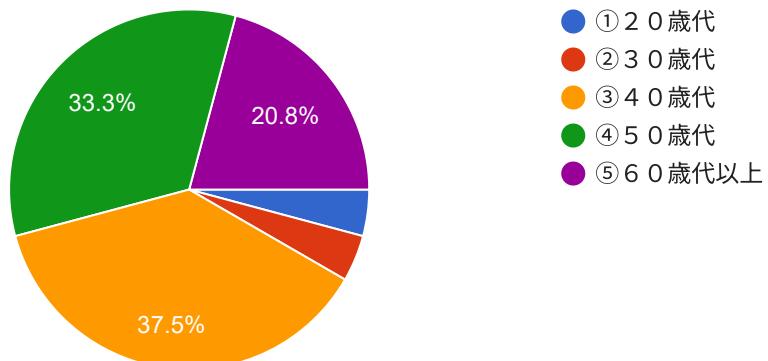
 コピー



## 2.年代

24 件の回答

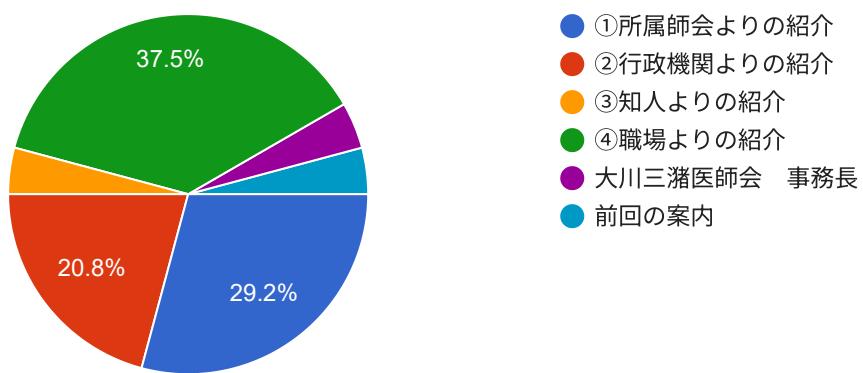
 コピー



3.本講演会の開催をどのようにして、お知りになりましたか？

 コピー

24 件の回答

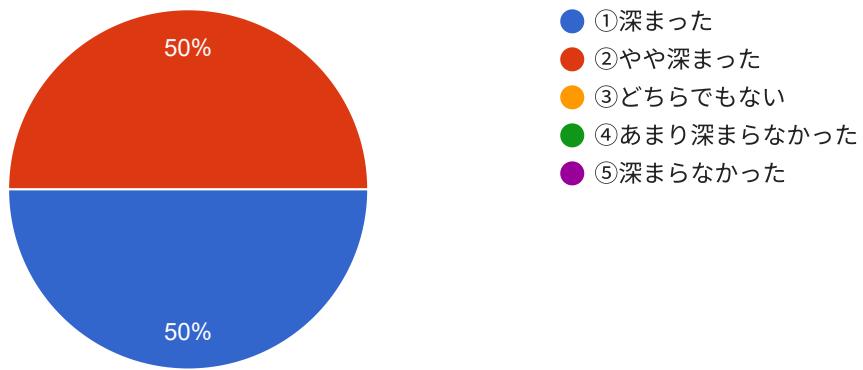


- ①所属師会よりの紹介
- ②行政機関よりの紹介
- ③知人よりの紹介
- ④職場よりの紹介
- 大川三潴医師会 事務長
- 前回の案内

4.「医療倫理とカスハラ法」への理解は深まりましたか？

 コピー

24 件の回答

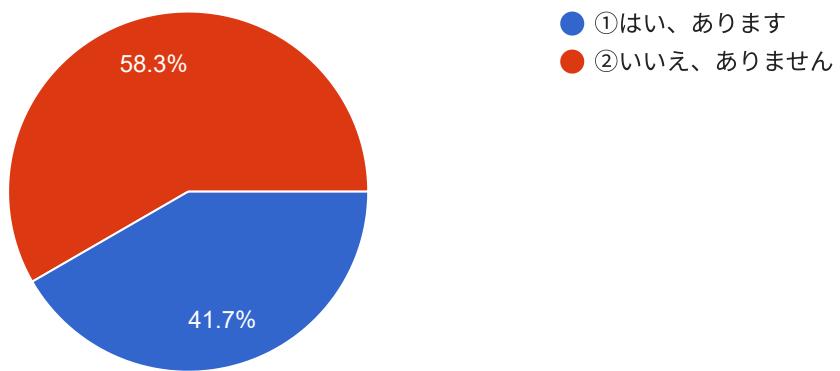


- ①深まった
- ②やや深まった
- ③どちらでもない
- ④あまり深まらなかった
- ⑤深まらなかった

5.過去にカスタマーハラスメント法に関する研修を受けた経験はありますか？

 コピー

24 件の回答



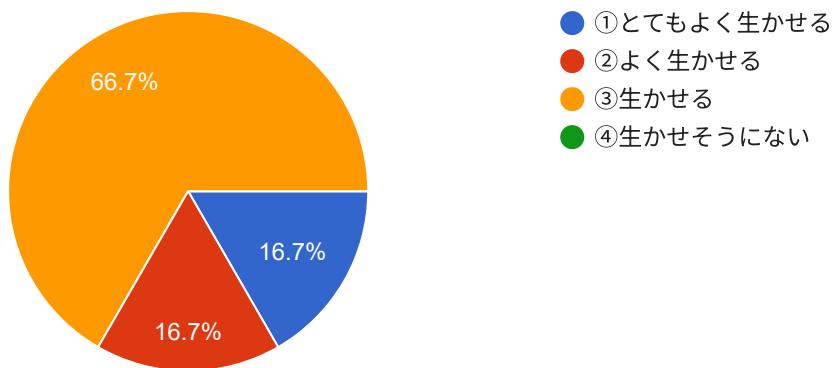
- ①はい、あります
- ②いいえ、ありません



## 6.本研修内容をあなたの職場で生かせそうですか？

□ コピー

24件の回答



## 7.カスタマーハラスメント法に関して今後さらに学びたい内容があれば教えてください

7件の回答

個人の訪問看護ステーションで、大切な利用者である為、ハラスメントがあっても利益追求の為、スタッフが我慢し対応した。利益とスタッフどちらを大切にすればよかったのか...。在宅におけるカスハラを深堀したい。

実際の対応した例などがあれば学びたい。カスハラと言えど患者の不利益にならないのか等、バランスが難しいのでもっと知りたい。

介護現場のカスタマーハラスメント

今後も、参考裁判例を挙げ、内容と裁判の流れ、その後までの事例を多く学びたいと思いました。

ハラスメントを行う患者に対して具体的にこちらがどのような対応をするべきなのか教えてほしい。

現場での具体的な対応（訪問時等、周囲に助けを求められない場合）

できるだけ多くの実例を聞いてみたい、改善策も含めて



## 8.今後の多職種連携協議会の研修会において取り上げて欲しいテーマを教えてください

8 件の回答

診療報酬改定について

在宅で働いているスタッフの環境作り

在宅での利益追求、スタッフの仕事量のバランス

身寄りなしの方について

地域による医療資源の偏在の問題と、その解決策。

ACPについて

認知症の方を地域で支える地域包括ケアシステム

病院と地域の連携の在り方（MSWとの連携が難しいため）

（ENTの連絡も、もらえない事が多々あります）

MSWとの交流会、意見交換会

顔の見える関係づくりの為。連携を強化する為。（医療と包括、居宅）

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - [フォームのオーナーに問い合わせる](#) - [利用規約](#) - [プライバシー ポリシー](#)

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム



